

## 正副議長定例記者会見の質疑（令和5年2月定例会）

日時：令和5年3月15日（水） 13:00～13:13

場所：観光スポーツ文教警察委員会室

記者会見を行う渡部議長



記者会見を行う古川副議長



（テレビ愛媛：幹事社）

定刻となりましたので、正副議長の記者会見を始めさせていただきます。

なお、議長は次の公務がありますので、記者会見の時間は13時20分までとさせていただきます。まず初めに、議長からご挨拶をお願いします。

（議長）

本日、2月定例会を閉じましての定例記者会見でございます。どうかよろしくお願ひします。さて、今議会では、令和5年度当初予算において、西日本豪雨災害からの復興と防災・減災対策、人口減少対策、地域経済の活性化、アフターコロナへの対応を含む新型コロナウイルス対策、デジタル技術の活用など、県政の5つの重点施策に適切に対処できたものと認識しております。

このほか、観光地づくり、子育て支援など、その他の県政重要課題についても活発な質疑が展開され、議論が深まったものと評価しております。

以上、簡単ではありますが、冒頭のあいさつといたします。

（テレビ愛媛：幹事社）

副議長いかがでしょうか。

（副議長）

はい。副議長として、議長をお支えし、県政の喫緊の課題について、解決に資するための予算の成立など、一定の成果をあげることができたものと考えております。

（テレビ愛媛：幹事社）

それでは、弊社からの代表質問です。

「県立学校再編計画に関する議論を振り返っての議長の所感はどうか。」です。  
議長お願いします。

(議長)

はい。今回の学校再編は、平成の市町村合併と同じく、令和の大変革であると思っております。定例会においても、学校再編については、活発な議論があったと思っておりますし、熱を帯びた質疑もあったことで、様々な理解が深まったのではないかと思っております。

学校再編については、ご案内のとおり急激な少子化により、生徒数の減少や、学校の小規模化が続く中で、また、今後、高校を目指す子供達に魅力的な教育環境を提供するためには、避けては通れないものと認識しております。

しかし、一方で、学校に対する地域の人々の強い思いがございます。議会では、地域の方々の強い思いを受け、教育委員会に対し、地域住民の皆様に対し、改革の必要性を真摯に、しっかりと説明して、粘り強く理解を求めてほしいということ強く要請してきたところです。これから、学校ごとに準備委員会を設立して、新しい学校の在り方を検討していくと聞いておりますけれども、教育委員会には引き続き地域と連携を深めながら、地域に愛される、子供達に選ばれる、そんな学校づくりに取り組んでいただきたいと思っております。

(テレビ愛媛：幹事社)

副議長いかがですか。

(副議長)

今回の計画は、あくまで生徒ファーストでなければならない。子供たちを一番に考えたものでなければならないと思っておりますので、その観点で、今回の定例会において活発な議論がなされたということが、有意義であったと思っております。

(テレビ愛媛：幹事社)

様々な地域から、見直しを求める声があった中で、最終的に決定されましたが、地域によっては見直しが反映されなかった所もあるかと思えます。そのあたりに関して、どのようにお考えでしょうか。

(議長)

当初、教育委員会は1月末には計画発表をする予定でありましたが、その発表が2か月ほど延期されました。それは、各地域と向き合い各地域からの意見に真摯に向き合い、将来入学する子供達のために、良い提案に対しては、計画に反映させるなどして、再編計画が決まったと思っております。地元からの良い提案があれば、私は計画を変えていくべきだと思っておりますので、今後、新たに設置された協議会での協議を見守っていきたいと思っております。

(テレビ愛媛：幹事社)

副議長お願いします。

(副議長)

今回の再編計画は、地域の実情とか、学校の実情に見合う形を鑑みた中での結果ではないかと思えます。ただ、議長が申しあげたとおり、我々は、今後とも、地域の意見を尊重しながら、声を上げていきたいと思っております。

(テレビ愛媛：幹事社)

他に質問はありませんか。

(愛媛新聞)

愛媛新聞です。

今回、前期の計画としてまとめましたが、5年度の後期計画について、県民の声を届ける議会としてどのように向き合っていくのかお聞かせください。

(議長)

今回の前期計画は2年かけて地域の学校関係者、有識者や首長を交えて協議したと伺っております。前期計画をまとめる際に、地域の思いがいっぱい噴出したと思えますが、時間をかけて地元の理解を得ることが、いかに重要であるかが証明されたものと思えます。教育委員会には、後期計画をまとめていく際には、地域の皆様の胸にある母校愛という感情にも目を向けながら、地域からのいろいろな意見に、しっかりと耳を傾けていただきたいと思います。

(テレビ愛媛：幹事社)

他に質問はありませんか。

(南海放送)

議会改革について、現在の状況はいかがですか？

(議長)

議会改革検討協議会の座長である副議長いかがですか。

(副議長)

議会改革について、今年度は、CATVを活用して情報共有を図ったり、様々な取組は行いました。しかし、情報発信に関する媒体があふれている中、情報発信の成果をあげていくことは難しいと認識しています。議会としては、県民の皆様身近に感じていただけるように、今後とも取り組んでまいりますので、よろしく申し上げます。

(テレビ愛媛：幹事社)

他に質問はありませんので、以上で正副議長の記者会見を終わります。ありがとうございました。